

整理番号
198

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	雇用促進事業				担当課	商工観光課
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち			担当係	商工振興係
施策項目	6	雇用対策			計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度
主な取組	1	若者等の地元雇用の促進			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	5	1	1	雇用促進事業	

目的と方針 【PLAN】	活力とにぎわいあふれる伊達市の実現に向け、若者等の人材の確保や定着・還流の促進など、若者をはじめとする市民の地元雇用を促進する取組を進めます。		
事業概要 【PLAN】	新卒高校生を対象とした企業説明会や就職促進セミナーを開催し、地元雇用を促進します。		
対象 【PLAN】	新卒高校生等	意図 【PLAN】	高校生の地元就職を促す。
意図の実現のために必要なこと 【PLAN】	福島労働局との雇用対策協定に基づき、企業説明会や業界研究などを開催し、就職したい職業を考える場としてもらう。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		252	200	14,831			
	事業費合計	千円		252	200	14,831			

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】									
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
新卒高校生の求人数（ハローワーク福島管内）	人	実績値が目標値以上となること	目標値	1,385	1,463	1,542	1,620	1,700	
			実績値	1,385					
			達成率	100.0%					

(２) チェック項目による評価【CHECK】									
	評価視点				評価の結果				
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか				就職を希望する高校生が一定数いることから、市内企業への就職を促すことで若者の定着が図られている。				
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか				高校生が就職説明会に参加してもらうことにより、目標達成に向けた事業効果が期待できる。				
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				福島労働局との雇用対策協定により予算なしで実施できる事業となっている。				

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】									
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		費用対効果が高いことから、福島労働局との連携を密にし継続して実施していくべき事業である。					

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	地域職業相談室維持管理事業					担当課	商工観光課				
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	商工振興係			
施策項目	6	雇用対策					計画期間	令和5年度 ～ 令和5年度			
主な取組	1	若者等の地元雇用の促進					事業区分	直営			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	1	5	1	1	地域職業相談室維持管理事業						

目的と方針 【PLAN】	活力とにぎわいあふれる伊達市の実現に向け、若者等の人材の確保や定着・還流の促進など、若者をはじめとする市民の地元雇用を促進する取組を進めます。	
-------------------------	--	--

事業概要 【PLAN】	厚生労働省福島労働局と連携し、市内で「伊達市地域職業相談室」を設置し、地域住民の雇用促進を図ります。
----------------	--

対象 【PLAN】	市民	意図 【PLAN】	市民の利便性の向上を図り、地元を含めた雇用の促進を促す
--------------	----	--------------	-----------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	福島労働局と締結した伊達市地域職業相談室の設置に関する協定に基づき、相談室の維持管理を行う。
----------------------	--

事業費【D0】		年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0				
	都道府県支出金	千円	0	0				
	地方債	千円	0	0				
	その他	千円	0	0				
	一般財源	千円	4,670	4,445				
	事業費合計	千円	4,670	4,445				

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
「地域職業相談室」での職業紹介件数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	2,117	2,138	2,159	2,180	2,200
			実績値	2,117				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	求人情報の検索や相談が伊達市内でできることから、求職者にとってニーズは高く、事務事業においても優先される事業と考える。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	相談室の利用が増加することで目標達成に向けた事業効果が期待できる。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	ハローワーク福島から職業相談員を派遣して頂いていることから費用縮小につながっている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	雇用促進事業に統合する。
------------	----	-------------------------	--------------

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	高齢者雇用促進事業					担当課	商工観光課				
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	商工振興係			
施策項目	6	雇用対策					計画期間	令和5年度　～　令和5年度			
主な取組	1	若者等の地元雇用の促進					事業区分	補助			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	1	5	1	1	高齢者雇用促進事業						

目的と方針 【PLAN】	活力とにぎわいあふれる伊達市の実現に向け、若者等の人材の確保や定着・還流の促進など、若者をはじめとする市民の地元雇用を促進する取組を進めます。	
-------------------------	--	--

事業概要 【PLAN】	高齢者の就労機会の増大を図るとともに、能力を活かした活力ある地域社会づくりを行うため、シルバー人材センターに対し運営支援を行います。
----------------	--

対象 【PLAN】	高齢者	意図 【PLAN】	高齢者の就労意欲に応じて就労できる地域社会を作る。
--------------	-----	--------------	---------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	シルバー人材センターに運営費補助することで、市内高齢者の就労機会の増大や社会参加の促進を図る。
----------------------	---

事業費【D0】		年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0				
	都道府県支出金	千円	0	0				
	地方債	千円	0	0				
	その他	千円	0	0				
	一般財源	千円	8,414	8,414				
	事業費合計	千円	8,414	8,414				

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
会員数	人	実績値が 目標値 以上と なること	目標値	620	620	620	620	620
			実績値	576				
			達成率	92.9%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	今後ますます少子高齢化が進むことから、高齢者の就労機会は高まり、社会的需要も高まっている。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	シルバー人材センターの活動は高齢者の生きがいづくりと社会参加や就労機会の提供であることから、目標達成に向けた事業効果は期待できる。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	事務については補助金の交付事務のため、削減の余地はないと考える。 補助額については、今後ますます取り組みが活発となることから補助額を精査し対応する。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	雇用促進事業へ統合する。
------------	----	-------------------------	--------------

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	企業誘致推進事業（再掲）					担当課	商工観光課				
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	商工振興係			
施策項目	6	雇用対策					計画期間	令和５年度　～　令和７年度			
主な取組	2	市内企業における市民雇用の促進					事業区分	直営			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	1	7	1	2	企業誘致推進事業						

目的と方針 【PLAN】	活力とにぎわいあふれる伊達市の実現に向け、若者等の人材の確保や定着・還流の促進など、若者をはじめとする市民の地元雇用を促進する取組を進めます。	
-------------------------	--	--

事業概要 【PLAN】	伊達市の立地環境を広くPRし、企業の伊達市への立地を誘導します。 また、雇用促進奨励金により地元雇用の促進を図ります。
----------------	--

対象 【PLAN】	市内外に立地する企業	意図 【PLAN】	企業の立地、雇用の増加から、伊達市の製造品出荷額が増え、経済が活性化すること。
--------------	------------	--------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	工業団地への企業立地が進み、進出企業や既存企業の投資等が増える状態にすること。
----------------------	---

事業費【D0】		年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	100,000	0	0			
	地方債	千円	145,500	0	0			
	その他	千円	272,710	49,877	258,248			
	一般財源	千円	7,655	7,141	2,364			
	事業費合計	千円	525,865	57,018	260,612			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
企業訪問回数	回	実績値が 目標値 以上と なること	目標値	20	10	10	40	80
			実績値	20				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	市の経済活性化および市民の雇用創出の場を確保するため、市民ニーズおよび社会的需要は高いと推察される。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	企業訪問の際に工業団地のPR、情報交換を実施することで新工業団地の企業誘致に繋がったことから、有効な事業だと考える。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	地域雇用創出・産業活性化基金繰入金を主な特例財源とし、一般財源の使用を抑えている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	終了・完了	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	達成率参照のとおり、企業誘致推進事業の目標を達成し、新工業団地区画が完売したことで事業目的が果たされたため、事業完了とする。 なお、新工業団地の拡張等の際に本事業について新たな手法を考案していく。
--------	-------	-------------------------	---

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	地域職業相談室維持管理事業（再掲）					担当課	商工観光課				
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	商工振興係			
施策項目	6	雇用対策					計画期間	令和５年度　～　令和５年度			
主な取組	2	市内企業における市民雇用の促進					事業区分	直営			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	1	5	1	1	地域職業相談室維持管理事業						

目的と方針 【PLAN】	活力とにぎわいあふれる伊達市の実現に向け、若者等の人材の確保や定着・還流の促進など、若者をはじめとする市民の地元雇用を促進する取組を進めます。	
-------------------------	--	--

事業概要 【PLAN】	厚生労働省福島労働局と連携し、市内で「伊達市地域職業相談室」を設置し、地域住民の雇用促進を図ります。
----------------	--

対象 【PLAN】	市民	意図 【PLAN】	市民の利便性の向上を図り、地元を含めた雇用の促進を促す
--------------	----	--------------	-----------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	福島労働局と締結した伊達市地域職業相談室の設置に関する協定に基づき、相談室の維持管理を行う。
----------------------	--

事業費【D0】		年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0				
	都道府県支出金	千円	0	0				
	地方債	千円	0	0				
	その他	千円	0	0				
	一般財源	千円	4,670	4,445				
	事業費合計	千円	4,670	4,445				

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
「地域職業相談室」での職業紹介件数	件	実績値が目標値	目標値	2,117	2,138	2,159	2,180	2,200
		以上と	実績値	2,117				
		なること	達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	求人情報の検索や相談が伊達市内でできることから、求職者にとってニーズは高く、事務事業においても優先される事業と考える。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	相談室の利用が増加することで目標達成に向けた事業効果が期待できる。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	ハローワーク福島から職業相談員を派遣して頂いていることから費用縮小につながっている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	雇用促進事業に統合する。
------------	----	-------------------------	--------------

整理番号		203 事務事業評価表 令和5年度実施事業				部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	雇用促進事業（再掲）				担当課	商工観光課				
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち				担当係	商工振興係			
施策項目	6	雇用対策				計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度			
主な取組	2	市内企業における市民雇用の促進				事業区分	一部委託			
予算科目	会計	款	項	目	大事業					
	1	5	1	1	雇用促進事業					
目的と方針【PLAN】	活力とにぎわいあふれる伊達市の実現に向け、若者等の人材の確保や定着・還流の促進など、若者をはじめとする市民の地元雇用を促進する取組を進めます。									
事業概要【PLAN】	若者の離職防止や女性活躍推進等を目的に、求職者や企業向けにセミナー等を開催します。 また、市内企業における市民の雇用を促進します。									
対象【PLAN】	求職者や市内事業者				意図【PLAN】	若者の離職防止や女性活躍推進などへの理解度が企業内で高まる				
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	求職者や企業向けのセミナーを開催し制度や取組について理解する機会を提供する									
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)	
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0				
	都道府県支出金	千円		0	0	0				
	地方債	千円		0	0	0				
	その他	千円		0	0	0				
	一般財源	千円		252	200	14,831				
事業費合計		千円		252	200	14,831				
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】										
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
セミナー参加企業数		社	実績値が目標値以上となること	目標値	15	20	25	30	35	
				実績値	11					
				達成率	73.3%					
(2) チェック項目による評価【CHECK】										
	評価視点				評価の結果					
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				女性活躍推進やワークライフバランスなどへの理解はあるものの、参加までにつながっておらず、参加者が少なかった。					
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				採用力アップセミナーは参加企業の満足度は高く、企業の採用力強化につながった。継続して行うことで、目標達成に向けた事業効果が期待できる。					
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				女性活躍推進とワークライフバランスの2つの題材をあわせて講演することで、効率化を図った。					
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】										
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など			女性活躍推進やワークライフバランスなど参加者が少ないセミナーもあることから、企業の求める情報を提供できるよう企画検討していく。					